



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。



平成 28 年 4 月 26 日

各位

会社名 株式会社アルデプロ

代表者名 代表取締役社長 椎塚裕一

(コード番号 8925 東証二部)

問合せ先 執行役員管理本部経営企画部部長 荻坂昌次郎

(TEL 03-5367-2001)

極度ローン契約の締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり極度ローン契約の締結について決議いたしました。また、本契約に基づき平成 28 年 4 月 28 日付で借入を行いますので、お知らせいたします。

記

1. 極度ローン契約締結の理由

当社は不動産再活事業のリーディングカンパニーを目指して事業を推進しております。そして平成27年7月期からは、不動産再活事業に加えて再開発アジャストメント事業のトップランナーを目指して事業活動を進めており、その実績および評価は高まってきております。その結果現在では、区分所有建物から取扱物件も拡大、多様化し、収益ビル、収益マンション、商業施設、ホテル、旅館等取扱い分野も広範囲に渡っております。

このような状況下、当社は取得対象物件の拡大や様々な投資家との取引拡充を効果的に行うため、各種不動産への取り組みについての経験やノウハウが豊富な協業パートナーを模索しておりました。

そして今般、アジアを拠点とする投資ファンドである(=Asia based investment fund) P AGグループ(合同会社JLアライアンス)との間で機動的な不動産取得資金の調達が可能となる極度ローン契約を締結いたしました。

当社はその融資枠を活用することによって機動的な不動産物件の取得が可能となり、当社の再活事業および再開発アジャストメント事業をさらに積極的に展開していけるものと考えております。

2. 極度ローン契約の概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 融資枠設定金額 | 52 億円 |
| (2) 契約締結日 | 平成 28 年 4 月 26 日 |
| (3) 契約期間 | 1 年 |
| (4) 契約締結先 | 合同会社 JL アライアンス
(住所) 東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 5 号 |

(5) 資金使途 不動産取得資金

3. 平成 28 年 4 月 28 日付の借入の内容

- (1) 借入日 平成 28 年 4 月 28 日
- (2) 金額 42 億円（極度ローン契約の融資枠設定金額内）
- (3) 金利 年 1.5%
- (4) 返済期限 平成 29 年 4 月 28 日
- (5) 貸付人 合同会社 JL アライアンス
(住所) 東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 5 号
- (6) 担保状況 当社が仕入れた販売用不動産に担保設定（注 1）
- (7) 資金使途 運転資金（不動産取得資金）
- (8) 当社との関係 資本関係、人的関係、取引関係はありません。

(注 1) 平成 26 年 11 月 10 日付「販売用不動産の仕入契約締結に関するお知らせ」でお知らせした東京都港区所在の建物付き土地に担保設定。

(注 2) 上記の借入金額は、当社の平成 27 年 7 月期の末日における連結純資産の額(4,383 百万円)の 30%相当額以上の金額であります。

4. 今後の見通し

本借入による業績に与える影響はありません。

当社は今後、自己資金とともに外部からの借入も活用して販売用不動産の仕入を行い、販売活動を行ってまいります。

以上